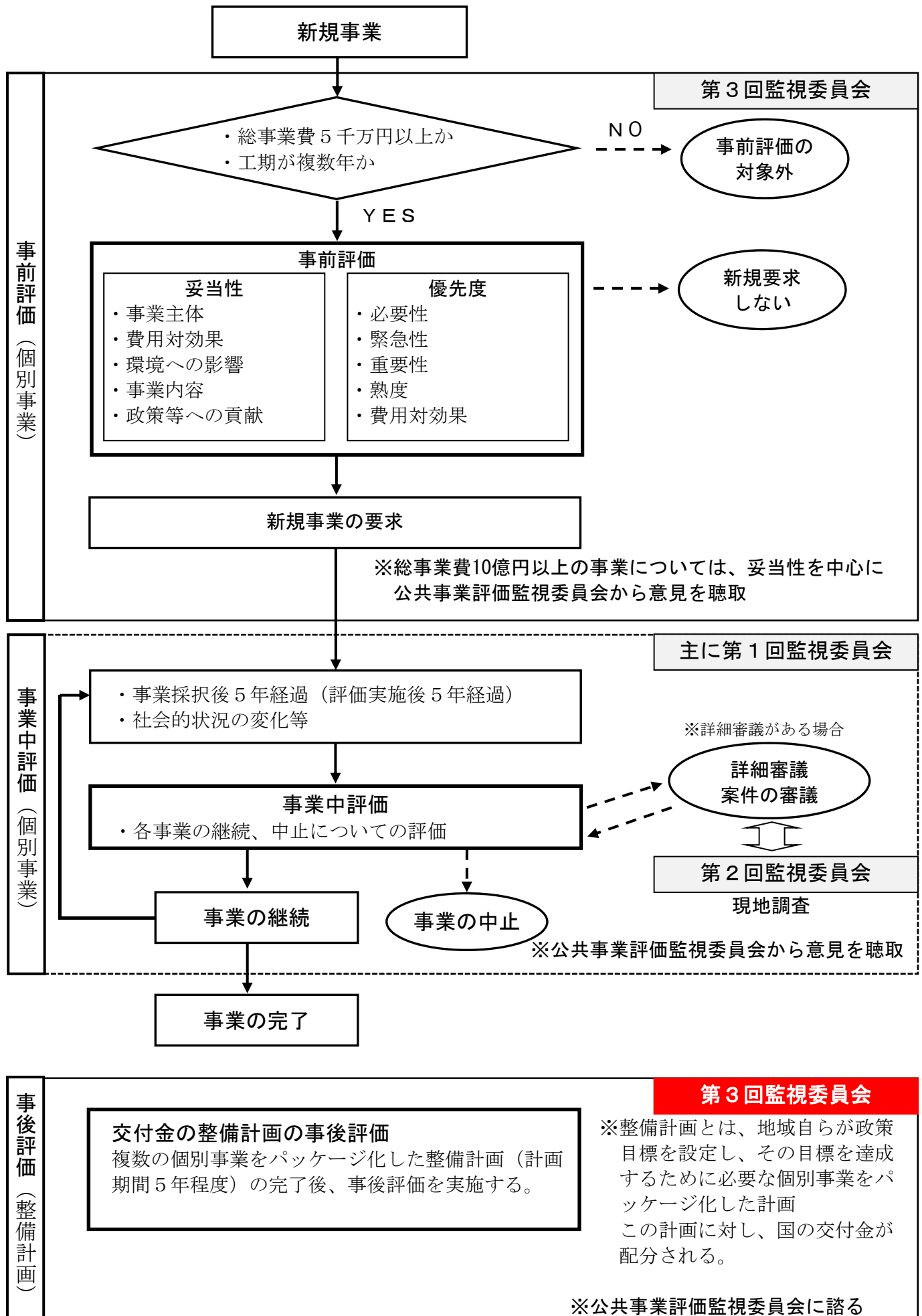


整備計画評価の概要

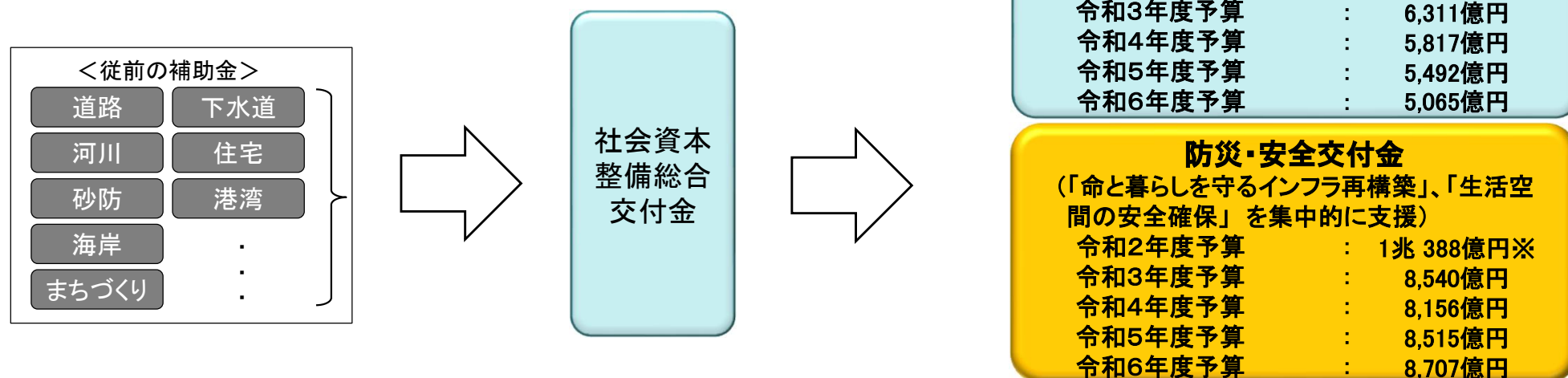
- 公共事業評価の流れ
- 交付金の概要
- 整備計画評価 案件表
- 整備計画評価の視点

公共事業評価の流れ



社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金

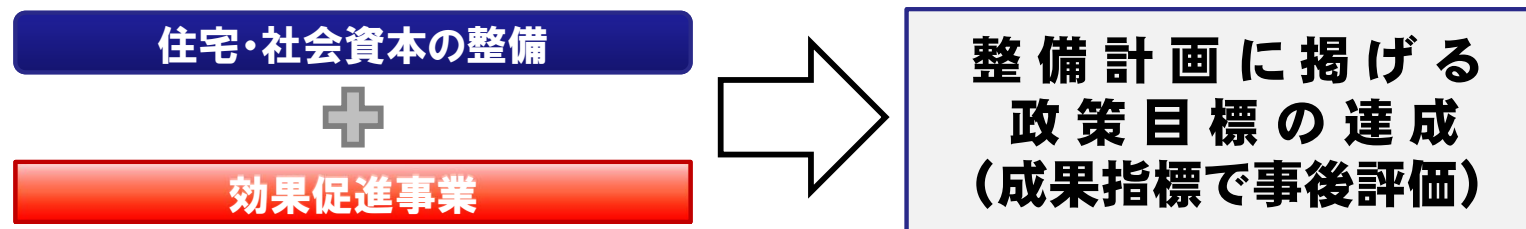
- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。



※ 令和2年度予算は臨時・特別の措置を含んでおり、金額は以下の通り。
社会資本整備総合交付金: 349億円、防災・安全交付金: 2,541億円

両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の17事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。



住宅・社会資本の整備	効果促進事業
基幹事業	
○ 道路 ○ 港湾 ○ 河川 ○ 砂防 ○ 上下水道 ○ 海岸 ○ 都市公園 ○ 市街地 ○ 住宅 ○ 住環境整備 ○ 地域公共交通再構築 等	
(社会資本整備総合交付金の例) - 産業・観光振興等による活力ある地域の形成 例) 都市公園の整備 例) 港湾施設の整備  - 民間投資を誘発する取組 例) PFI等を活用した下水汚泥固形燃料化施設等の導入 	○計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務 ○全体事業費の2割目途 (社会資本整備総合交付金の例) - 観光情報の発信(観光案内情報板の整備、観光PR等) 例) 観光案内情報板の整備 - 社会実験(シェアサイクル、道路の歩行者優先化等) - 計画検討・策定(住生活基本計画等)  (防災・安全交付金の例) - ハザードマップの作成・活用 例) ハザードマップの作成・活用 - 防災教育、防災訓練の実施 - 災害時のための資機材整備(マンホールトイレ、可搬式ポンプ等) - 遊具の修繕 

※このほか、社会資本整備円滑化地籍整備事業(社会資本整備と地籍調査の連携を図り、社会資本のストック効果の最大化等を図る観点から行う地籍整備事業)等がある。

防災・安全交付金を活用した整備計画の事例

計画名称

△△地域における総合的地震・津波対策の推進(防災・安全)

計画期間

令和元年度～令和5年度

計画目標

南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、特に津波の被害が懸念される△△地域において、住民の津波避難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的・総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。

成果目標

○津波・洪水等の浸水被害を軽減させる。 ○安全に避難できる人口を増加させる。

道路法面对策事業

○避難路の安全を確保



法面崩壊



法面对策
【整備イメージ】

地震・高潮対策河川事業

○堤防液状化対策



都市防災総合推進事業

○避難場所の整備



【整備イメージ】

津波・高潮危機管理対策 緊急事業

○護岸堤防整備



急傾斜地崩壊対策事業

○急傾斜地崩壊対策に
併せて避難場所を確保



【整備イメージ】

「南海トラフ巨大地震」の
津波による浸水予測範囲

整備計画の評価対象一覧

番号	計画の名称	交付対象	事業種別	事業内容	基幹事業数	全事業費 (百万円)	計画期間
■ 事後評価							
1	多様な世代の安全・安心な利用と都市公園の長寿命化	山形県	公園	公園施設整備	1	1,000	H31～R5
2	都市における無電柱化の推進（無電柱化推進計画支援）	山形県 ／市町村	街路 道路	無電柱化、現道拡幅等	8	6,807	H31～R5
3	季節を問わず、地域間の交流連携をサポートし県内産業を支援する活力ある県土づくり	山形県 ／市町村	道路	（改築）道路改築、現道拡幅、バイパス、橋梁架け替え等	66	24,788	H30～R4
4	すべての人が安心して楽しくとおれる道路空間を形成し、安全安心な地域づくり（防災・安全）	山形県 ／市町村	道路	（交安）歩道整備、交差点改良等	31	4,635	H30～R4
5	通学路の安全を確保し子供達が安心してとおれる道路空間整備（防災・安全）	山形県 ／市町村	道路	（交安）通学路の歩道整備	84	26,896	H30～R4
6	高速道路等を中心としたネットワークにより地域を結び活力ある県土整備	山形県 ／市町村	道路	（改築）国道バイパス、ICアクセス、橋梁架け替え・拡幅等	10	3,909	H30～R4
7	自然災害に強いまちで安全で快適な暮らしをまもる県土づくり（防災・安全）	山形県 ／市町村	道路	（雪寒・修繕）崩雪対策、流雪溝、落石対策、除雪機械等	365	75,002	H30～R4
8	山形県における人口減少対策の推進（地域住宅計画 第Ⅲ期）	山形県 ／市町村	住宅	公営住宅等長寿命化、リフォーム補助、不良住宅除却	143	15,238	H28～R3
9	山形県における防災安全対策の推進（地域住宅計画 第Ⅲ期）	山形県 ／市町村 ／事務組合	住宅	公営住宅耐震改修、耐震診断・改修・がけ地近接等危険住宅移転事業等	95	12,911	H28～R3
10	山形県漁港漁村整備計画	山形県	漁港海岸	陸間の自動閉鎖化4基	1	85	R2～R5

事後評価の視点

評価項目	評価の視点	備 考
事業効果の 発現状況	計画の目標や計画の成果目標（定量的指標）に対して、どのような効果が発現されたか	
定量的指標の 達成状況	設定した定量的指標（目標値）に対して、実績（実績値）はどの程度だったか。 （目標値と実績値に差が出た場合には、その要因を分析する。）	
今後の方針等	事業効果の発現状況及び定量的指標の達成状況を踏まえ今後の方針等を設定する。	